

1月ふたば



令和7年12月25日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園（57-2818） 岩崎 愛実

朝も空気が一段と住みわたり、吐く息が白く見える季節になりました。園庭では、子ども達が元気いっぱい走り回り、頬を赤く染めながら冬の訪れを楽しんでいます。この1年、たくさんの体験をした子どもたちは、心身共に大きく成長しました。年末年始、こども園は休みに入りますが、適度な湿度を保ちながら、戸外から帰ったらうがいや手洗いを心掛けたいですね。

【保育目標】

- 冬の生活について知り、伸び伸びと体を動かして健康に過ごす
- お正月ならではの遊びや伝承遊びに興味を持ち、保育者や友だちと楽しむ
- 自分で食べる意欲を大切に、食事の時間を楽しむ

1がつうた

- ・ゆき
- ・まめまき
- ・(わらべうた) だるまさん

【1月の予定】

1月1日（木）～1月3日（土） 2号・3号認定のお子さん 年始休園	16日（金）祖父母の集い（5歳児）
1月1日（木）～1月5日（月） 1号認定のお子さん 冬季休暇	19日（月）バトミントン教室（5. 4. 3歳児）
7日（水）行事食	21日（水）不審者訓練
8日（木）身体測定（5. 4. 3歳児）	23日（金）体操教室（5歳児）
9日（金）身体測定（2. 1. 0歳児）	27日（火）避難訓練
13日（火）交通安全指導	28日（水）キッズハウスひろば（未就園児対象） 【カイロプラクターによるベビーとのふれあい遊び】
14日（水）誕生会	30日（金）布団持ち帰り

【2月の主な予定】

- ・3日（火）節分
- ・18日（水）新入園児説明会
- ・25日（水）誕生会

♪今月の歌 わらべうた 「だるまさん」



だるまさん だるまさん
にらめっこ しましょ
わらうとまけよ
あっぱっぱ

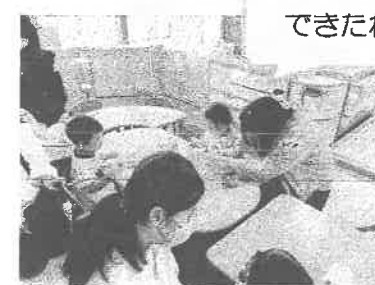
～ぜひ、ご家庭でもお子さんと触れ合い、歌ってみてください～

- ① 二人、向かい合わせになる
- ② 「あっぱっぱ」の歌詞と同時に面白い顔をして笑ったり、吹き出したりした方が負けです。
表情豊かにいろいろな顔をしてみましょう！

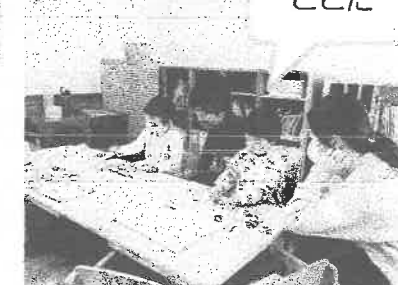
双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動、園内の様子を発信しています。今月は、ちゅうりっぷ組（1歳児）の様子、引き渡し訓練の様子です。

ちゅうりっぷ組 ファミリーデー

11月26日（火）に開催されたファミリーデーでは、終始穏やかな会になりました。いつもの子ども達の姿を保護者の方々に見てもらいながら、子どもの好きな遊びを一緒に楽しんだり、友だちとの関わりを楽しむ姿が見られました。保護者の方へのインタビューも、笑いや笑顔でいっぱいの素敵な時間をクラスで過ごすことが出来ました。



できたね



ここだ



こうかな？

引き渡し訓練

11月27日の避難訓練では、地震と津波を想定して新たに加わった避難所である長木集会所まで避難をしました。保護者の皆様にも一緒に避難ルートを確認していただいたり、引き渡し方の再確認をしていただいたりして、緊急時に素早く、安全にお子さんを保護者の皆様の元に引き渡せるように訓練を行いました。子どもたちからは、「津波が来ないうちに、速く逃げるんだよ。」「急いで逃げるのが大変だった。」などという声が聞かれました。訓練に参加できなかったご家庭も、園の避難所の場所の確認を必ずしていただけますようお願いします。



長木集会所っていうんだね。津波が来るときにはここにも避難できるんだね。



みなさんで、急いで避難できました。
避難所に到着して園長先生のお話を聞きました。



お家の人と一緒に避難ができて安心したね。

＜避難所＞

- 1 園庭
- 2 鍛冶町公園
- 3 佐渡高校
- 4 蓮華院
- 5 二宮小学校
- 6 長木集会所

園長コラム：「異年齢での活動」

令和7年12月25日

― 異年齢との関わりが育む “家族のような学び” ―

双葉こども園では、日々の保育の中で「異年齢での関わり」を大切にしています。幼児教育において、集団の中で年齢の異なる子ども同士が関わり合うことには、実はたくさん意義があります。上の子は自然と“お兄さん・お姉さん”としての役割を意識し、下の子は憧れの存在を身近に感じながら挑戦する気持ちになります。まるで家族のように支え合い、学び合う姿が日常の中に広がっています。

異年齢での関わりには、子どもたち一人ひとりの成長を確かに後押ししてくれる、かけがえのない学びがたくさん詰まっています。思いやりや責任感、憧れや挑戦心といった「人としての根っこ」が、遊びの中で自然に育まれていきます。そして何より、子どもたちがとても楽しそうです。年齢を越えて笑い合い、助け合う姿を見ていると自然と笑みがこぼれ、私の心まで温かくなってきました。

ある日の異年齢保育の様子

この日は、3.4.5歳児の子どもたちが自分でやりたい遊びを選び、3つのグループに分かれて活動しました。

「自分で選ぶ」ことは、主体性を育てる大切な経験です。好きな遊びに没頭できることで、より集中した学びが生まれます。人は年齢ではなく「やりたいときがやれるとき」なのです。「できた！」はその子の大きな自信につながり、更なる挑戦する力を育てます。（写真、文章は当日クラスの保護者に配信されたドキュメンテーションより抜粋）

● グループ① 保育室でのコーナー遊び

ひまわり組でままごとコーナー・ラキョウコーナー・絵本コーナーと遊びました。ままごとコーナーでは、人形のお世話や料理を作ってごっこ遊びをしていました。ラキョウコーナーでは、作りたいイメージを膨らませながら手先を器用に動かして動植物を作っていました。絵本コーナーでは字が読めるお姉さんが小さい子に読み聞かせをしていました。好きな遊びを通して異年齢児同士で楽しみながら過ごしました。年上の子が小さい子にラキョウの作り方を教えてあげたり、ままごとで役割を分担したりと、自然な関わりがたくさん見られました。

（環境・人間関係・表現・言葉）

● グループ② 戸外遊び（鬼ごっこなど）



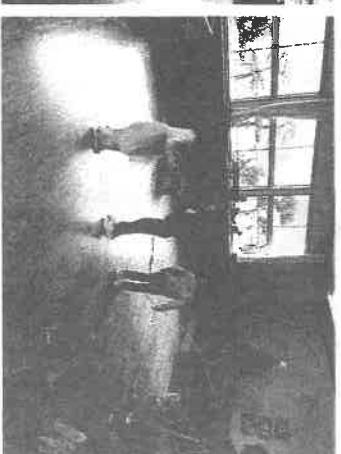
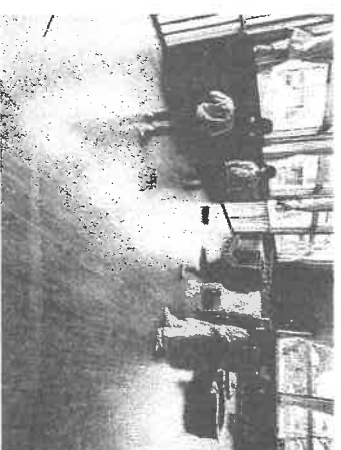
広い公園で思いきり走り回り、年齢を越えて協力しながら遊ぶ姿が印象的でした。走る速さの違いも、遊びの中で上手に調整していくのが異年齢ならではの姿です。異年齢で鍛冶町公園に出ると「さむいね！」と、体を縮める子もいれば「暑いから大丈夫！」と、ジャンパーを脱ぐ子もいるなど、それぞれに自分で衣服の調節をする姿が見られました。時々小雪が舞うこともありましたが「体を動かせばあったかくなるよ！」と、クラスを交えて鬼ごっこやかけっこ、焚き火ごっこなどを楽しみ、寒さに負けない強い体で元気に活動をしていました。（環境、言葉、人間関係、表現、健康）



● グループ③ 遊戯場 大縄跳び、だるまさんころんだ

年上の子が縄を回し、年下の子がタイミングを見て跳ぶ姿は、まさに“チーム”。「次いくよ」「大丈夫、ゆっくりでいいよ」と声を掛け合いながら、成功したときにはみんな嬉しそうでした。

遊戯場で身体を動かすチームは、大縄跳びや短縄跳び、だるまさんころんだなどをしました。大縄跳びでは「ゆり組がやっていた大縄跳びやってみようよ」「私が縄を回すね」「じゃあ、私、跳ぶね」「今度と一緒に跳ぼうよ！」「いいね」と相談して役割を決めたり、友だちを誘いあったりしていました。異年齢で遊ぶ中で「わたしもやってみたい」と憧れの気持ちや「見ててよ、こうやるんだよ」と年下の友だちへ教える姿がありました。（健康・協同性・社会生活・思考力・言葉）



異年齢での活動は、子どもたちの心を豊かにし、園全体に温かな空気を生み出してくれます。これから、家族のように支え合いながら育ち合う環境を大切にしながら双葉こども園らしい幼児教育をていねいに実践していきます。